



逆境からの挑戦、勝利への軌跡

# 池新田高等学校サッカー部



## PROFILE

大久保翔悟監督、青木勇二コーチ率いる総勢22人

3年生の思いを受け継ぎ新生サッカー部をまとめるのは2年生の秋定晃平くん、

曾根直也くん、二俣湧哉くん、この3人が新生サッカー部の大黒柱だ。

### 心技体、大切なのは心

「昨年は三大大会での勝利はゼロ、ユースリーグも最下位とお世辞にも実力のあるチームとは言えませんでした」こう話すのは、本年度監督となった大久保翔悟教諭。

「サッカーの楽しさと勝つことの喜びを伝えたい」とチームの大改造を行った。

個人の技術を徹底的に鍛えるだけでなく、スポーツマンとしての礼儀や感謝の心など、心の持ち方を指導し、生活態度の改善にも力を入れた。生徒たちの元気なあいさつや、きれいに整頓された部室や器具庫が心境の変化を物語っている。

### 4カ月で65試合への挑戦

選手たちに必要なのは経験と実績。自分たちの実力を知り、目標を常に意識させる必要があった。

練習メニューも一新し、昨年とは全く違う環境に生徒からの反発も強かった。「試合が多すぎる」「休みがほしい」不満が出るのは当然だった。何度も意見をぶつけ合いながら無謀ともいえるスケジュール

で試合を重ねた。

勝つことの喜びを知ることが次も勝ちたいという思いが生徒たちの中に芽生えてきた。この挑戦は生徒の勝利への意識を変えた。

「試合への価値観が変わりました」こう語るのはキャプテンの大石裕太くん。「これまでは意識せず結果だけを喜んでいただけ、今は勝つためにはどうしたらいいのか、こうしたから勝てたんだと試合に対しての思いがすごく変わった」と話してくれた。

### サッカーが大好きだ

9月の全国高校サッカー選手権大会では残念ながら敗退してしまっただが、静岡県西部ユースリーグでは現在暫定2位と1部リーグ昇格目前。3年生の生徒たちは「結果を残したい。後輩にこの思いをつなげたい」と練習に励む。

「練習はつらいこともあるけれどサッカーが好きだから、このチームで勝ちたいから頑張っています」そう話す生徒たちの目は輝いていた。「歴史を変えよう」を合言葉に頑張るサッカー部、これからの活躍に期待したい。